

第1回

exocadのその先へ

『アジア初』そして『日本唯一』の exocad公認最上級インストラクターが伝える **基本技とウラ技の全て！！**

世界標準CADソフト「exocad」の操作スキルを、基礎から応用まで体系的に習得できる、本格的な講習会です。

本コースでは単冠クラウンやブリッジの基本設計はもちろん、カスタムアバットメント・スクリーリテインブリッジ・コピーデンチャー・データマッチングなど、『臨床で求められる多様なケースに即対応できる実践力』を養います。

「PC操作に自信がない」「自己流で覚えてしまい、基礎から学び直したい」という方も大歓迎です。豊富な臨床経験を持つ公認トレーナーが、一人ひとりのレベルに合わせて丁寧に指導。明日からのデジタル技工・歯科臨床が劇的に変わる2日間。

ぜひ、この機会にご参加ください。

講師



森亮太 先生

有限会社セラモテックシステム代表取締役
公立大学法人 九州歯科大学 非常勤講師（生体材料学入門）
exocad ソフトウェア認定トレーナーClassIII Ultimate（アジア初）
株式会社ヨシダ インストラクター
社団法人日本歯科技工士会会員
日本臨床歯科CAD/CAM 学会会員（認定指導歯科技工士）
日本補綴歯科学会会員
日本口腔インプラント学会会員

『exocadの残りの70%を知る』

一般的に、iPhoneユーザーは『iPhoneの本来のポテンシャルのわずか3割しか使いこなせていない』と言われていますが、実は exocadも同じ。多くの方がその真価の一部しか使えていないのが現状です。

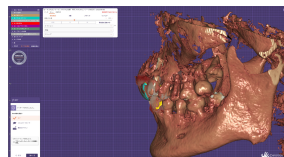
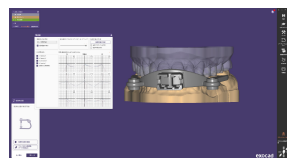
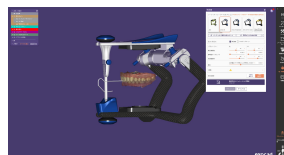
今回のセミナーでは、2日間を通じて exocadの眠っている可能性を最大限に引き出し、『日常の臨床に直結する力』として活用できるようになることを目指します。

この2日間が、あなたの臨床に新しい可能性をもたらすきっかけとなれば幸いです。

セミナー内容

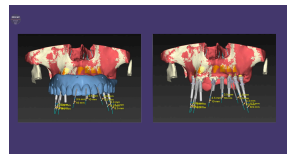
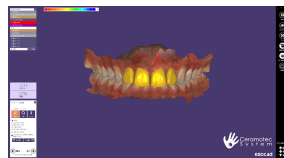
Day1

- ・パラメーターの基礎と応用
- ・データマッチングの基礎と応用
- ・エキスパートモードの基礎知識
- ・デジタル咬合器の基礎と応用
- ・JAWMOTIONデータの使用方法
- ・DICOMデータの使用方法
- ・フェイシャルスキャンデータの活用
- ・質疑応答



Day2

- ・DIGITAL WAX-UPの基礎と応用
- ・インプラントガイドデザインで使用するデータ作成
- ・インプラント補綴デザインの基礎知識
- ・複数インプラント補綴に必要なデータマッチング
- ・裏技的な機能の利用法
- ・質疑応答



開催日時

4月11日(土) 10:00～18:00

4月12日(日) 10:00～16:00

※土曜日夜に懇親会を予定しております（実費）

定員数

15名

※先着順となります。

受講費

110,000円

※決済後のキャンセルは各種手数料を引いた額を返金いたしますのでご了承ください

参加条件

- 1・臨床で日常的にexocadを使用されている方
- 2・exocadの基本的な操作ができる方
- 3・exocadの使用歴1年以上の方

※3つのいずれかに該当されていればOKです

持参物

お持ちの方は、ノートパソコン型exocad
各種相談したいケースのデータ

※1人1台PCをご用意しております

特典

セミナー終了後も一定期間、森先生へ直接臨床のご相談をして頂けます

会場

Amorphous研修会場

大阪府大阪市中央区本町2-3-4 アソルティ本町7階 LAZARUS内

申込

セミナー専用公式LINEにご登録ください

LINEにて参加申し込みフォーム・お支払い方法を送信します

公式LINE登録は右のQRコード読み取り（ID：@823xapec）

※お問い合わせはLINEにてお願いいたします



supported by

YOSHIDA

LAZARUS

バカ社長の独り言

筆者は2010年に個人ラボとして開業したが、開業からほどなくして、早い段階で3shapeのスキナーとソフトを導入した。当時の自分としては相当勇気のいる投資であり、大げさではなく「清水の舞台から飛び降りる覚悟」で導入した。

しかし、2010年ごろの歯科技工業界では、一人親方の歯科技工所がスキナーを導入することはまだ珍しく、「ナンセンス」「金の無駄遣い」「デジタルよりアナログ技工をもっと精進すべきだ」といった声を多く頂き、非常に悔しい思いをした記憶がある。

とはいえ、導入によってさまざまな可能性が広がり、多くのチャンスを得たことで、今の自分がある。

今となっては、あのタイミングでの導入は完全に正しい判断だったと断言できる。ネガティブな意見に左右されなかった当時の自分を、今こそ自分で褒めたいと思う (by 有森裕子)。

筆者の記憶では、3shapeはワークフローが自動化されていて分かりやすく、デジタルが非常に苦手な筆者でも感覚的に使うことができた。一方で、exocadは筆者にとってかなり難しく、恥ずかしながら少し触った程度で断念し、そこから先は完全に専門のCADオペレーターに任せるようになった。

車で例えるなら「3shapeはオートマチック車」、「exocadはマニュアル車」といったイメージと言えれば分かりやすいだろうか。

しかし、マニュアル車であるからこそ、exocadは扱う者の技量次第で無限の発展性を発揮するのではないだろうか。使いこなすことさえできれば、スポーツカー並みのポテンシャルを秘めていると感じる。

今回はご縁があり、「アジア初・日本国内で唯一のexocad公認上級インストラクター」である森氏にレクチャーをしていただく機会に恵まれた。

今回筆者はセミナーを「開催する側」ではあるが、筆者個人としても、また会社としても存分に学ばせていただく所存である。このセミナーを通じて、弊社のCADオペレーターたちが「市街地を走る普通免許ドライバー」から「サーキットを爆走するF1レーサー」へと進化する気がしてならない。

日常臨床で悩みながらデジタル技工に向き合っている方々には、ぜひこの機会にご参加いただき、疑問点を完全にクリアにさせていただきたいと思う。

音速の胃公子こと故アイルトン・セナに想いを馳せながら

LAZARUS/Amorphous 豚足の技工士こと村田彰弘(A)